

都市再生整備計画 事後評価シート
神戸都心西部地区

平成25年2月

兵庫県神戸市

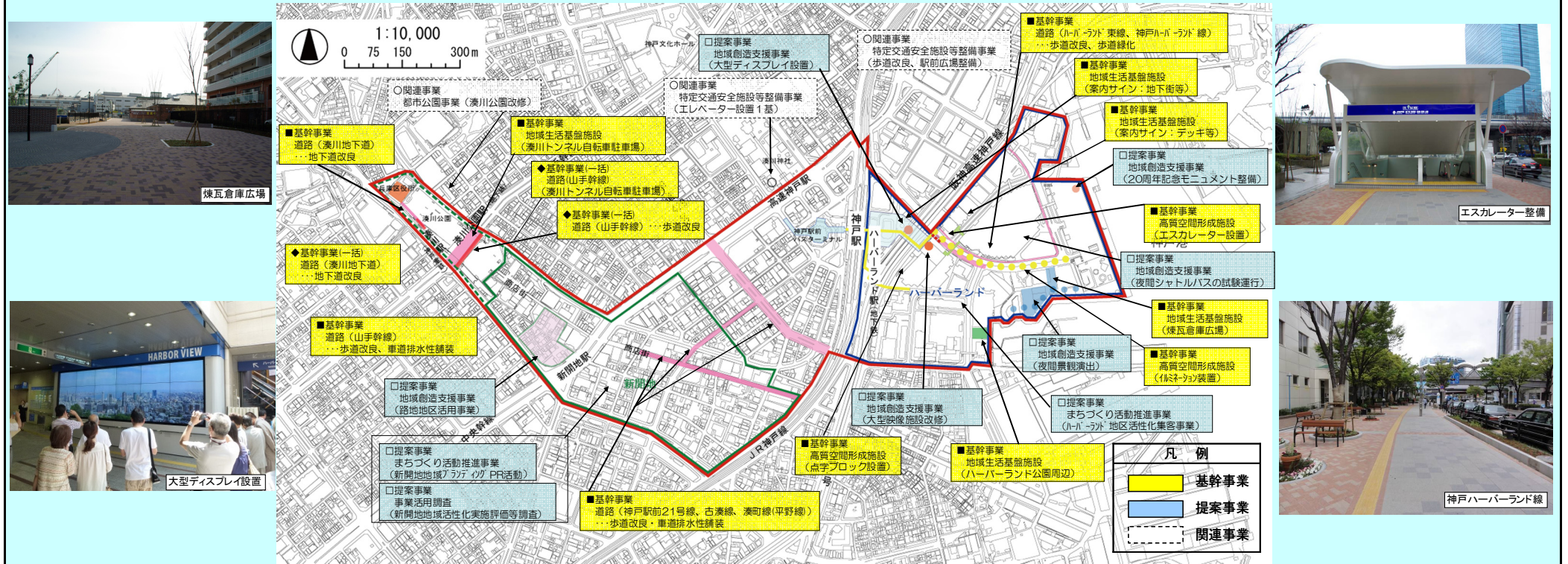
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県	市町村名	神戸市	地区名	神戸都心西部地区			面積	77ha				
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	1,176.75百万円		国費率	0.4			
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】神戸駅前21号線、古湊線、ハーバーランド東線、神戸ハーバーランド線、山手幹線、湊町線、湊川地下道、【高質空間形成施設】イルミネーション装置										
		提案事業	【地域創造支援事業】路地地区活用事業、大型映像施設改修、【事業活用調査】新開地地域活性化実施評価等調査、【まちづくり活動推進事業】ハーバーランド地区活性化集客事業、新開地地域ブランディングPR活動										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】神戸駅前西線			関連事業(神戸駅前広場整備)との調整により、当該工事も含め一体施工の方が望ましいとの結論となり関連事業で施行することとなったため、事業を取りやめた。				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	【地域創造支援事業】空店舗活用・誘致事業 【事業活用調査】ユニバーサルデザイン推進化検討調査			・空店舗活用・誘致事業:空店舗の地権者などの関係者との調整がつかず、事業計画策定の目処が立たないため、事業を取りやめた。 ・ユニバーサルデザイン推進化検討調査:地区内におけるUD視点からの整備が関連事業を含め概ね完了したため、当該事業を取りやめた。				影響なし			
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】山手幹線(湊川トンネル自転車駐車場) 【地域生活基盤施設】案内サイン(神戸市)、案内サイン(神戸ハーバーランド(株))、煉瓦倉庫広場、湊川トンネル自転車駐車場、ハーバーランド公園周辺 【高質空間形成施設】エスカレーター、点字ブロック			・ハーバーランド地区において、来街者の回遊性向上や、ユニバーサルデザインの取り組みを行い、まちの活性化を図るため、案内サインの整備や、煉瓦倉庫広場の整備、ハーバーランド公園周辺の再整備計画、エスカレーター整備、点字ブロック設置を追加した。 ・新開地地区において、街並みと調和した歩行空間の演出による魅力向上を図るため、自転車駐車場の整備を追加した。				湊川トンネル自転車駐車場の整備を追加したことにより、指標に自転車駐車場の利用率を追加した。			
提案事業		【地域創造支援事業】夜間シャトルバスの試験運行、大型ディスプレイ設置、夜間景観演出、20周年記念モニュメント整備			・ハーバーランド地区において、まちの新たな魅力創出、来街者の増加を図るため、夜間シャトルバスの試験運行や、大型ディスプレイ設置、夜間景観演出、20周年記念モニュメント整備を追加した。				影響なし				
交付期間の変更	当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
変更	なし												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値 モニタリング 評価値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)		フォローアップ 予定時期		
	指標1	地区内の各駅乗車人員	万人/年	4,597	H17	4,800	H24	●	4.270	×	あり なし	中核商業施設の撤退等、当初予期していなかった事態が生じたため、集客力の低下につながったと考える。また、近年の鉄道乗車人員については、県内においても減少傾向にある。当地区においては、まちの魅力創出及び回遊性向上等に努めたが、乗車人員が増加に転ずることはなかった。	H25年9月
	指標2	来街者の満足度	%	75.8	H17	80	H24	●	89.6	○	あり なし	歩道整備やイベントの充実等により、新たなまちの魅力創出につなげることができ、満足度が増加したと考える。	H25年1月
	指標3	大型映像施設を活用したイベント開催数	回/年	38	H18	48	H24	●	40	△	あり なし	H23年度までは42件と、増加傾向にあったが、H24年度は大型商業施設の改修等の影響により、まち全体のにぎわいが停滞したため、イベント開催数も伸びなかった。	H25年4月
	指標4	自転車駐車場の利用率	%	41	H21	53	H24	●	59.7	○	あり なし	自転車駐車場の利便性・防犯性が改善され、歩行空間の魅力向上に寄与したと考える。	H26年1月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	神戸ガス燈通りの大階段部の通行量	人/11時～16時	1,137	H21	/	/	2,699	/	/	/	神戸ガス燈通りにおいて、エスカレーターを設置したことにより、通行量が倍増した。	
	その他の数値指標2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
	その他の数値指標3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
4)定性的な効果発現状況	当該地区の基盤整備(歩道改良・緑化等)や、新たな施設整備(エスカレーター、大型ディスプレイ等)等により、新たなまちのにぎわいを創出している。更にH25年度には、現在改修中の大型商業施設等が開業することにより、まちの魅力向上に向けた相乗効果が期待できる。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	地元説明会の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も住民と協働のまちづくりを進めて行く。					
持続的なまちづくり体制の構築	・ハーバーランド運営協議会 ・新開地周辺地区まちづくり協議会総会、パートナーシップ会議		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続きまちの活性化に向けて、取り組みを進めて行く。						

様式2-2 地区の概要

神戸都心西部地区(兵庫県神戸市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標: 神戸における新旧都心の一体性を高め、新たな魅力づくりを行うことにより、来街者が交流し相乗効果が発揮される「都心西部」再生 目標1 ○情報発信・文化交流等を通して多機能都市としての成熟度を高める 目標2 ○まちの魅力の再発見とその活用によるまちの活性化など地域力を活かしたまちづくり 目標3 ○市民、観光客が安全で快適に回遊できる歩行者空間の創出	地区内の各駅乗車人員	単位: 万人/年	4,597 H17	4,800 H24	4,270 H24
	来街者の満足度	単位: %	75.8 H17	80 H24	89.6 H24
	大型映像施設を活用したイベント開催数	単位: 回/年	38 H18	48 H24	40 H24
	自転車駐車場の利用率	単位: %	41 H21	53 H24	59.7 H24



まちの課題の変化	施設改修や整備、イベントの実施等を行い、まちの新たな魅力創出やにぎわいづくりに寄与する等、一定の効果は得られた。今後も引き続き、整備した施設の維持管理や、イベントの開催、空間演出等に取り組むとともに、課題として残されているアクセス機能の向上、回遊性の向上について、地元事業者等と協力しながら、取り組んでいく。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	今後は神戸ハーバーランド地区を対象エリアを絞り、まちのさらなる活性化を図るため、地区外からのアクセス機能の向上や地区内における回遊性の向上を目的とした、都市再生整備計画(神戸ハーバーランド地区)を作成し、平成25年度～平成29年度にかけて実施していく。新開地地区については、次期の都市再生整備計画(神戸ハーバーランド地区)の対象地域とはしないが、今後の来街者の増減や商業活性化の状況に留意しながら、地域への必要な支援は引き続き実施していく。